

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2008-525177(P2008-525177A)

【公表日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2007-547645(P2007-547645)

【国際特許分類】

B 0 1 F 17/52 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 201/06 (2006.01)

C 0 9 D 129/04 (2006.01)

C 0 9 D 139/06 (2006.01)

C 0 8 F 20/56 (2006.01)

B 0 1 F 17/22 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 F 17/52

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/06

C 0 9 D 129/04

C 0 9 D 139/06

C 0 8 F 20/56

B 0 1 F 17/22

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ベーマイト粒子の水性組成物用の分散剤であって、高分子親水性部分に連結された固着部分を有する化合物を含み、前記固着部分が少なくとも一つの酸基及び/又はヒドロキシ基を含有し、かつ、全体として酸性又は中性であり、前記高分子部分のベーマイト表面に対する親和力が前記固着部分より低い分散剤。

【請求項 2】

各酸基が、カルボン酸、スルホン酸又はリン酸から独立して選択される請求項1に記載の分散剤。

【請求項 3】

高分子親水性部分が、ポリアクリルアミド、ポリ-N,N-ジ-メチルアクリルアミド、ポリ-2-アクリルアミド-2-ヒドロキシ-メチル-1,3-プロパンジオール、ポリメタクリルアミド、ポリ-N-メチルアクリルアミド及びポリ-N-メチルメタクリルアミド又はその混合物から選択される請求項1又は2に記載の分散剤。

【請求項 4】

前記化合物が、下記式 (I) :

$$\text{B}-\left[\begin{array}{c} \text{H} \\ | \\ \text{---} \text{C} \text{---} \\ | \\ \text{E} \end{array} \right]_n - \begin{array}{c} \text{[R']}_m \\ | \\ \text{A} \\ | \\ \text{[G]}_p - \text{D} \end{array} - \left[\text{L} \right]_z - \left[\text{M} \right]_x - \text{F}$$

(I)

(b) 一種又は二種以上の請求項1～6のいずれか一項に定義された分散剤を含有する組成

物を、水性分散媒及び任意選択的に結合剤と混合してコーティング組成物を調製し、

(c) 前記コーティング組成物を基材に塗布して当該基材上にコーティングを形成させ、
次いで

(d) 得られたコーティングを乾燥する、
ステップを含んでなる基材をコートする方法。

【請求項 9】

ベーマイト粒子の分散液に、一種又は二種以上の請求項1～6のいずれか一つに定義され
た分散剤を、水性分散媒及び任意選択的に結合剤とともに添加するステップを含む、ベ
ーマイト粒子の分散液の粘度及びゲルもしくは降伏応力物質を生成する傾向を減少させる方
法。

【請求項 10】

少なくとも一つの受像層を上にも有する支持体を含むインクジェット記録要素であって、
請求項7に定義されたベーマイト粒子のコーティング組成物を含有するインクジェット記
録要素。